

韓国でランピースキン病続発

济州島で初めて発生が確認されました！

ランピースキン病とは

- ・ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病（人への感染はない）
- ・蚊、ハエ、サシバエ、ダニの媒介による機械的な伝搬や感染した牛の移動により感染が拡大！
- ・全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少により生産性が低下

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大



疑わしい場合は
直ちに連絡！



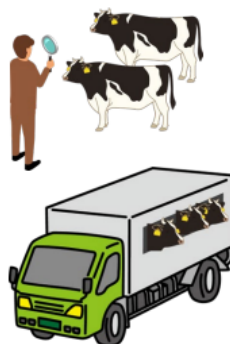
写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所

(State Central Veterinary Laboratory in Mongolia)

ランピースキン病の侵入防止対策

01 毎日の健康観察

早期発見・早期連絡が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、
出荷、移動時は健康観察を徹底。



02 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、
粘着シート等も活用。



03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。

韓国におけるランピースキン病の発生状況 (2026年9月11日時点)

忠清南道

最新発生日：2026年8月7日

発生件数：1件

感染頭数：7頭

※ 2026年における初発日：8月7日

全北特別自治道

最新発生日：2026年8月26日

発生件数：3件

感染頭数：13頭

※ 2026年における初発日：7月10日

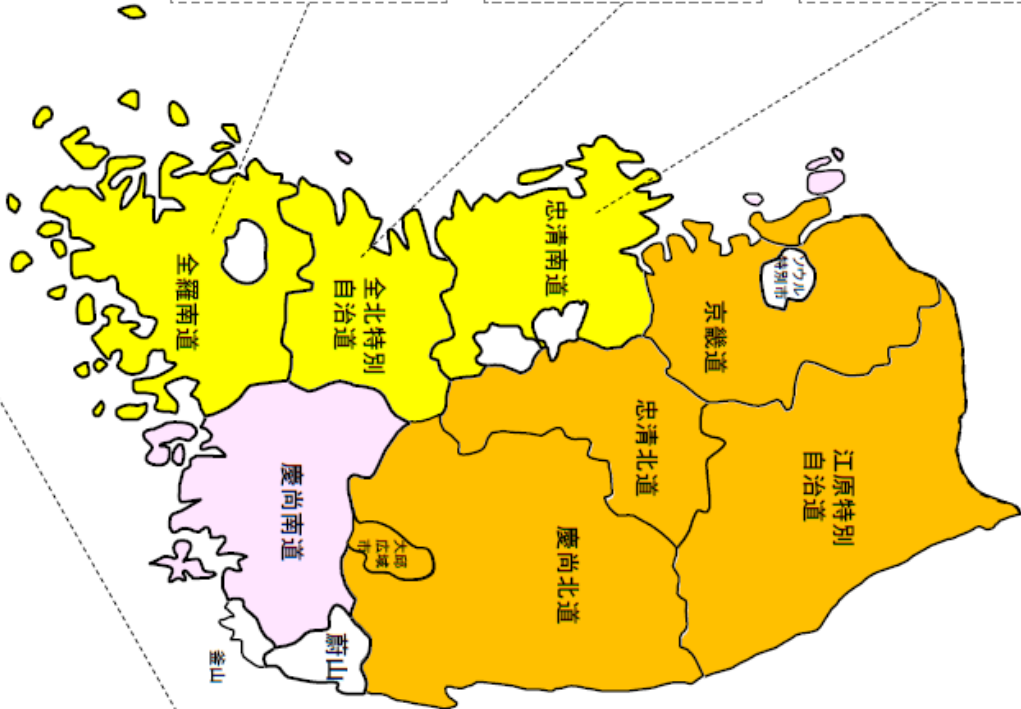
全羅南道

最新発生日：2026年9月7日

発生件数：11件

感染頭数：50頭

※ 2026年における初発日：7月30日



発生状況

	発生件数	殺処分対象頭数
2023年	107件	6,455頭
2024年	24件	304頭
2025年	-	-
2026年	17件	-

済州特別自治道

最新発生日：2026年9月8日

発生件数：2件

感染頭数：(確認中)

※ 2026年における初発日：9月8日

農林水産省動物衛生課

出典：WOAH-WAHIS、KAHIS (Korea Animal Health Integrated System)、韓国当局公表資料等を基に作成

- ：2026年に発生が確認された行政区画
- ：2024年に発生が確認された行政区画
- ：2023年に発生が確認された行政区画